



J R 茨木駅前商店街の あした^{!!} 会議

2024年9月30日
茨木市 都市政策課

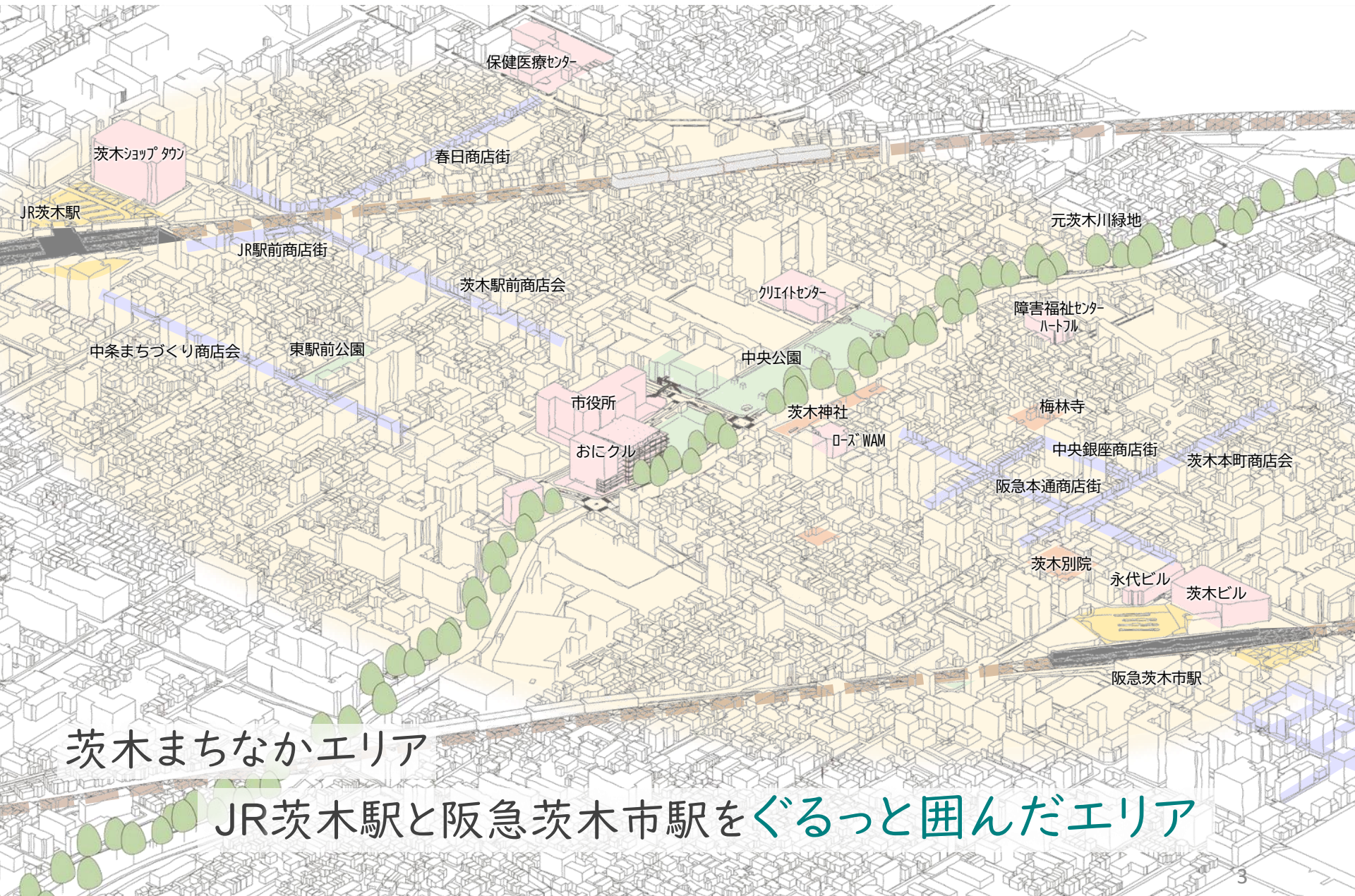
— もくじ —

テーマ１．茨木のまちなか どうしたい？

テーマ２．みちクルでやってきたこと

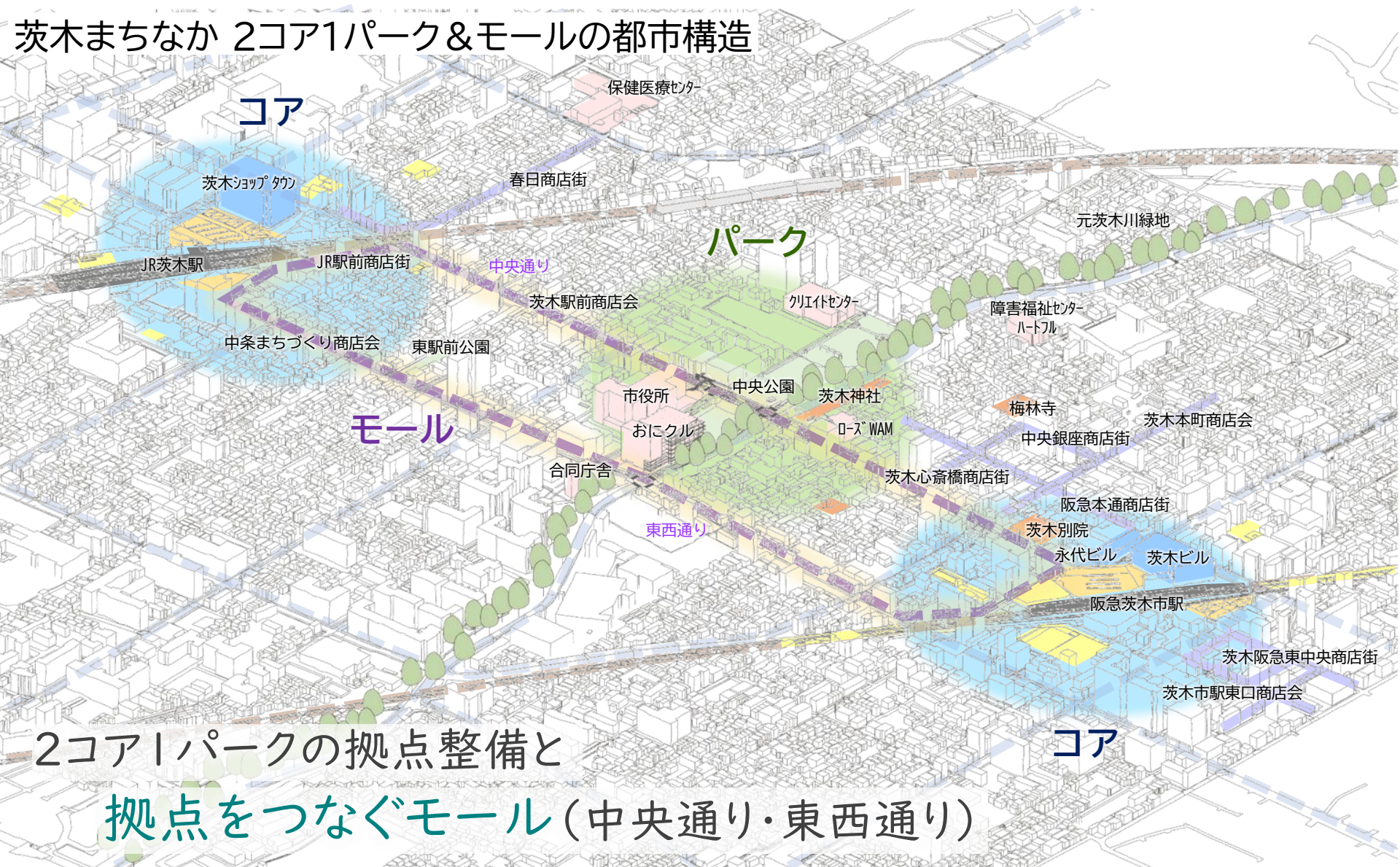
テーマ３．中央通りはどのようなの？

茨木の“まちなか”って？



茨木の“まちなか”って？

茨木まちなか 2コア1パーク&モールの都市構造



2コア1パークの拠点整備と

拠点をつなぐモール(中央通り・東西通り)

 : 公共施設
 : 公園
 : 駅前広場
 : 駐車場
 : 道路
 : 商店街
 : 駅前ビル
 : 寺社仏閣

茨木の“まちなか”って？

2コア(阪急茨木市駅西口・JR茨木駅西口) の再整備



1パーク (おにクル・元茨木川緑地・中央公園) の再整備



茨木の“まちなか”って？



茨木まちなかスタイル

茨木のまちなか、

どうしたい？

モール(中央通り・東西通り) の再整備

① 安全に通行できる環境整備



② 滞在や交流といった道路の利活用



③ 沿道空間のよりまちに開かれた設えの誘導



茨木のまちなか どうしたい？

目指しているのは、

クルマが多くても
通り過ぎるだけで、
経済活動はなし

“ひと”がゆったりと
まわりを楽しむ
ことができる

“クルマ” 中心
のまちなか

から



“ひと” 中心
のまちなか

への転換

“ひと”が狭い歩道
を通り、車道は
駐車場替わり

安心して自転車
にも乗れる

お店に“ひと”が
いて、楽しさが
伝わってくる

茨木のまちなか どうしたい？

茨木らしい幸せと豊かさを共感できるまちなかの実現



スタイル01
ぶらぶら歩くと
新しい発見がある



スタイル02
自転車でも
のんびり過ごせる



スタイル03
日常的に四季の変化
を感じられる



スタイル04
このまちにしかない
ものがある



スタイル05
夜のいいにぎわい
を感じる



スタイル06
思い思いに過ごせ
る場所がある



スタイル07
みんなで考え育て
る場所がある



スタイル08
気軽にチャレンジ
ができる



スタイル09
愛を持ってまちな
かを応援する



スタイル10
いろんな人に紹介
したくなる

ひと中心の茨木まちなかスタイル

茨木のまちなか どうしたい？

例えば・・・

新たな阪急の
駅ビルで習い事



スタイル08
気軽にチャレンジ
ができる

阪急側商店街
界隈で買い物



スタイル01
ぶらぶら歩くと
新しい発見がある



元茨木川緑地
や茨木神社で散策



スタイル03
日常的に四季の変化
を感じられる



JR駅前商店街
で食事



スタイル05
夜のいいにぎわい
を感じる



本通商店街
界隈でランチ



スタイル04
このまちにしかない
ものがある



おにクルで休憩



スタイル06
思い思いに過ごせ
る場所がある



茨木のまちなか どうしたい？

各事業共通のコンセプトは、

手をつないで歩きたい、茨木まちなか



● そぞろ歩きを楽しめるまちなか

目的がなくてもそぞろ歩きが楽しめ、偶然の出会いや発見が魅力となり、訪問回数が増えたり、毎回の滞在時間も増えるなど好循環につながるようなまちなかをめざす。

● お気に入りの場所があるまちなか

他にはないお気に入りの場所や個性的な行きつけの店があることで、まちなか愛が芽生えとともに、リピーターやまちなかサポーターを育むようなまちなかをめざす。

● だれかと共感しあえるまちなか

お気に入りの店で新しい店を紹介されたり、イベントで知り合った人の企画する場を訪ねてみたりするなど、共感が共感を呼び自然と広がるようなまちなかをめざす。

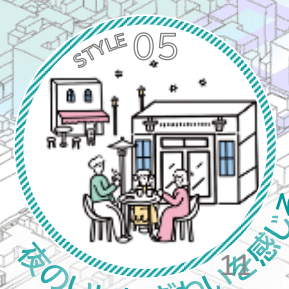
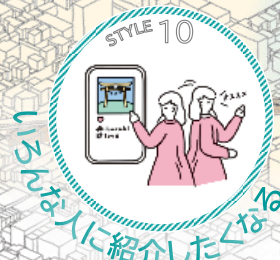
茨木のまちなか どうしたい？

手をつないで歩きたい、茨木まちなか

コア



コア



まちなかでそぞろ歩きを楽しんだり、お気に入りの場所があったり、まちなかの楽しさを誰かと共感しあえるなど、2コア1パークから始まる「ひと中心のまちなか」形成により、茨木らしい幸せと豊かさを共感できるまちなかを実現していきます。

— もくじ —

テーマ1. 茨木のまちなか どうしたい？

テーマ2. みちクルでやってきたこと

テーマ3. 中央通りはようになるの？

みちクルでやってきたこと

中央通りを含めた

メインストリート(モール)形成 の取り組み



昨年度の みちリノ社会実験の景色  をご覧ください。

動画視聴

— もくじ —

テーマ１．茨木のまちなか どうしたい？

テーマ２．みちクルでやってきたこと

テーマ３．中央通りはどのようなの？

令和6年度以降 の取り組みについて

2コア1パークの拠点整備はまだかかりそう・・・。

とはいえ、まちなかの中心となる“パーク”では、おにクルがオープンしたことで、茨木らしいまちの楽しみ方や使い方が、まちの風景として日常の中に見られるようになった。

これから拠点の整備が進めば、新たなニーズも生まれ、ひとの流れにも変化が生じる。それに合わせて、“中央通り”も変えていたのでは、きっと遅いはず。

今から、できることから、中央通りを“ひと中心”に変える必要があるのではないかと・・・と考えています。

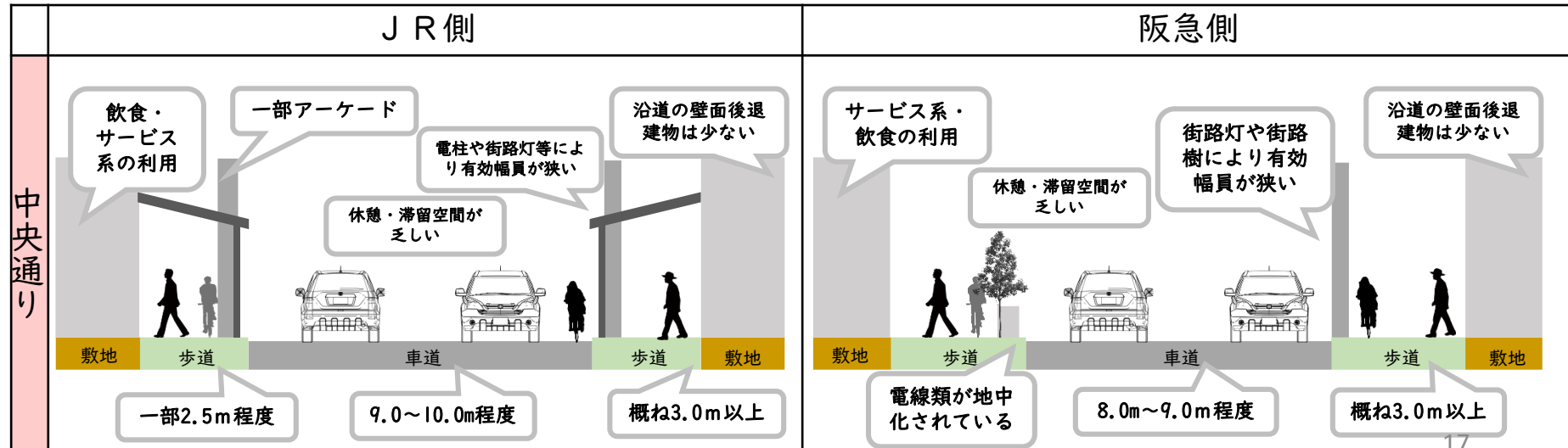
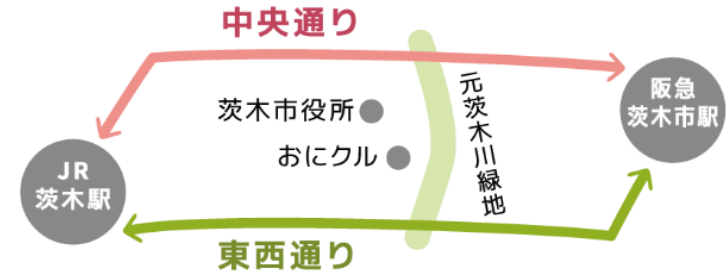
一気に変える・・・ことは暮らしている人たちの理解も追いつかず、大きなリスクも生じるので、徐々に徐々に変わり始めることが必要なのではないかと・・・と考えています。

そのため、中央通りの中でも、お店の出店が多く、最もポテンシャルがあり、自動車交通も少なく、“ひと中心”に変わるベースが揃っている、JR駅前商店街の前の“みち（側道）”をモデル整備区間として、“ひと中心”に変える取り組みにトライしたい!!・・・と考えています。

中央通りの特徴

今の中央通りは、

- ①全長 約1.3km / 幅員 約15m / 対面2車線
- ②歩道が狭く、自動車中心の道路となっている。
また、車両交通量も多い(約4,000台/12h)
- ③自転車利用も多く、歩道上で歩行者と自転車の錯綜が見られる。
- ④座る場所が少なく、滞在しにくく、通りすぎる歩行者が多いため、賑わいに欠けている。
- ⑤将来、道路空間再編の構想がある。
など



2040年頃の中央通りのイメージ

将来像のイメージとデザイン指針のポイント

賑わいがにじみ出す建築物の低層部
やオープンスペース

誰もが安心して通行できる
ゆとりある歩行空間

周辺の景観と調和し、良好なまちなみ
を形成する沿道建築物



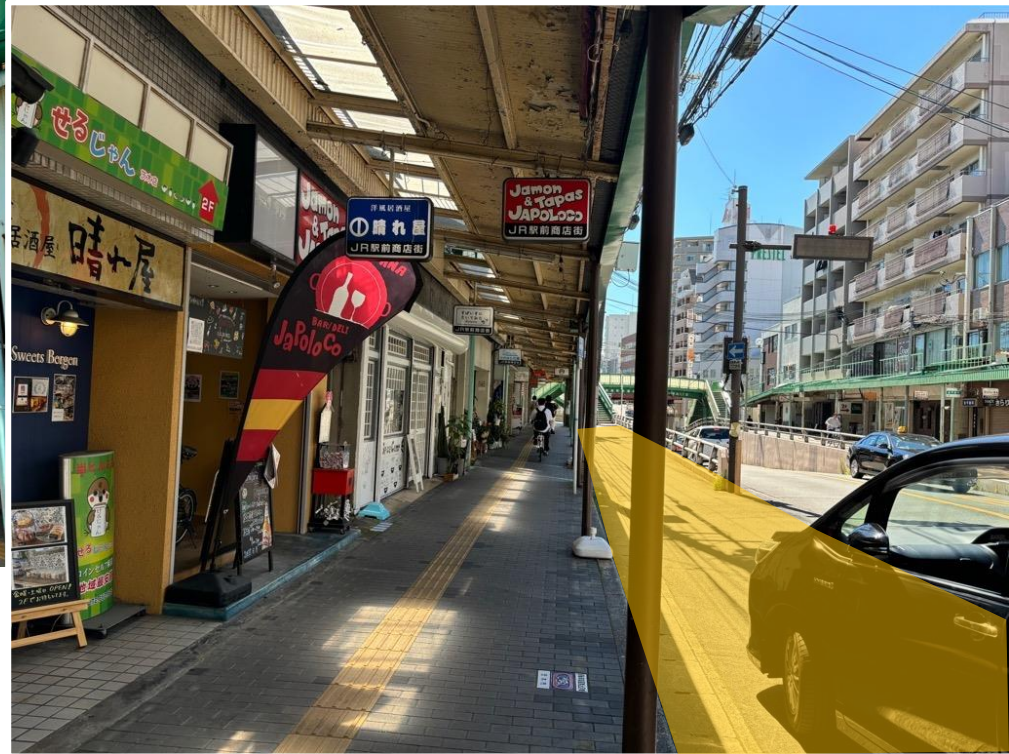
2040 年頃のイメージ

歩行者と自動車等が共存
できる人中心の道路空間

自然とコミュニケーションや交流
が生まれる休憩空間

賑わいや交流を生み出す
歩道空間

みなさんの目の前の“みち”で



側道部分を

“クルマ” 中心



“ひと” 中心 へ

みなさんの目の前の“みち”で

- ①安全に通行できる環境整備
- ②滞在や交流といった道路の利活用
- ③沿道空間のよりまちに開かれた設えの誘導



自転車

歩行者

+

滞在や交流

みなさんの目の前の“みち”で

- ①安全に通行できる環境整備
- ②滞在や交流といった道路の利活用
- ③沿道空間のよりまちに開かれた設えの誘導



“歩道”が広がって、歩く人が増えても、
お店に立ち寄ってくれなければ、

あくまでも“歩行者”。

歩行者が、

“立ち寄ってくれるひと”や“いつも来てくれるお客さん”
になってもらうにはどうしたらいいか、

一緒に 考えてみませんか？